

(様式1)

さが福祉サービス評価結果表

さが福祉サービス評価機関名

福祉サービス評価センターさが

施設・事業所情報

名称：認定こども園 嬉野幼稚園	種別：幼保連携型
代表者氏名：理事長 椎名 寿	定員(利用人数)：114名
所在地：佐賀県嬉野市嬉野町大字下野甲115-19	
TEL：0954-43-1019	ホームページ： http://www.youji.ed.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成30年4月1日	
経営法人・設置主体(法人名等)：学校法人 小川学園	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員 6名
専門職員	園長 1名
	主幹教諭 2名
	栄養士及び調理士 2名
施設・設備の概要	(居室数)8室 (設備等)・仮設プールが設置できる設備がある ・ランチルーム(1階) ・広いホール(2階)

理念・基本方針

<ul style="list-style-type: none">・経営理念 職員を輝かし、子どもを輝かせる・教育目標 自立した子どもを育てる 失敗に負けない子どもを育てる・教育方針 ほめて育成 きびしく指導 自ら挨拶できる子どもを育てる けじめとメリハリをきちんとできる子どもを育てる 子どものやる気を引き出して育てる 善悪の区別を身につける子どもを育てる。

施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none">・教育の内容に特徴があります。認定こども園嬉野幼稚園では、三つの力を身につける。<ul style="list-style-type: none">心の力 失敗に負けない子どもになって強い心を身につけること。 (挨拶・履物をそろえる)学ぶ力 理解力・思考力・洞察力を身につけること。 (読み・書き・計算を通して基礎学力を身に付ける)体の力 6歳までの時期に運動神経に刺激を与え、少し複雑で難しい動きや自分の体をコントロールできるようにすること。
--

さが福祉サービス評価の受審状況

評価実施期間	令和2年8月14日(契約日) ~ 令和2年11月27日(評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1回(平成30年度)

総評

特に評価の高い点

ICT導入で園児の登下園の時間管理、出入りやセキュリティーの管理が行われている。

また、会計処理等の諸事務については、外部のサポート会社に委託され、職員が教育、保育に専念できる環境づくりを行い、職員の質の向上に力を入れている。

人材確保については、法人内3つのグループ園と協力して採用や欠員が出た場合の補充がなされている。園では働き方改革が行われ、職員の意向を考慮し負担がかからないワークバランスの就労がなされて職場環境が整備されている。

教育、保育については、週、月、年の各単位でアセスメントに基づいた指導計画がクラス毎に作成されており、定期的に見直しをされ改善が図られている。

園内は非常に環境整備が整えられており、生活にふさわしい場として子どもが心地よく過ごせるよう配慮がなされている。

改善を求められる点

課題や問題を明らかにしていきながら、今後の目標やビジョンを実現していくため、中・長期計画の策定等を期待したい。

地域ネットワークの活用等を行っていきながら、地域福祉の向上に向けた取り組みを期待したい。

家庭での虐待等の権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態や家庭での養育の状況把握について、日々の業務の中で努められているが、虐待等権利侵害を発見した場合のマニュアルについては整備されておらず、今後、マニュアルの作成とともに職員への研修を行うことを期待する。

教育、保育に関する取り組みで各マニュアルの整備がなされていない。マニュアルの重要性を職員間で共有し、整備、さらには改善への取り組みを期待したい。

さが福祉サービス評価結果に対する施設・事業所のコメント

ありがとうございました。改善点については順次クリアしていき、職員間で共有し、改善点の意識の向上に努めてまいります。

さが福祉サービス評価結果

別紙の「さが福祉サービス評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙1)

さが福祉サービス評価結果

すべての評価細目(45項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。

評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

		第三者評価結果
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	- 1 - (1) - 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a ・ b ・ c
<コメント>理念、基本方針についてはホームページ、入園のしおり、入園時の重要事項説明書内にも記されている。教育、保育支援計画については職員や保護者に周知を行いながら作成されている。		

- 2 経営状況の把握

		第三者評価結果
- 2 - (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	- 2 - (1) - 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a ・ b ・ c
<コメント>グループ法人内の3園全体で、福祉事業の動向等事業経営状況について分析などが行われ、各園長が把握し計画に反映しているが、当園長は今期に就任されたばかりで地域の各種福祉計画策定の動向までは行えていない。		
3	- 2 - (1) - 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a ・ b ・ c
<コメント>業務、経理、雇用に関わる事については、外部のサポート会社に委託し、サポート会社からは園長へ月1回報告があり、課題や問題が生じれば報告書に基づいて改善や解決がなされているが、内容については主任までの確認となっており、職員全員には周知されていない。今後、全職員に周知し職員で具体的な改善すべき点を検討する取り組みが行われるように、より良い組織づくりを期待したい。		

- 3 事業計画の策定

		第三者評価結果
- 3 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	- 3 - (1) - 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a ・ b ・ c
<コメント>中・長期的なビジョンを明確にした計画は明文化して策定されていなかった。今後は地域のニーズを把握して、サービスの継続追行のためにも経営環境や職員体制の充足等、具体的な計画を作成され理念、方針の実現に向けた取り組みを期待したい。		

		第三者評価結果
5	- 3 -(1)- 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<コメント>事業計画については、中・長期計画を踏まえたものではなく、単年度で策定されている。今後、中・長期計画が策定されるとともに、中・長期計画を踏まえた単年度計画が策定されることを期待したい。		
- 3 -(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	- 3 -(2)- 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<コメント>職員全員で事業計画策定を行っておらず、単年度の計画は園長と主任のみで行われ、策定後グループ園の園長研修でチェックが行われている。各種の職員の参画や保護者の意見、要望を取り込み、職員や保護者が理解、周知を充分得た上で事業計画が策定され、評価、見直しできる組織づくりを期待したい。		
7	- 3 -(2)- 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<コメント>事業計画についてはホームページで開示されており、保護者に配布等行っているものの、十分に説明できていない。今後、保護者等から周知、理解を得られるよう保護者会等を増やし、説明する機会をより多く設けていくことを期待したい。		

- 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
- 4 -(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	- 4 -(1)- 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<コメント>園長及び主任が教育、保育の質の向上に向けて目標を立て、達成率を定期的集計する等している。週と月、年度ごとにPDCAサイクル手法を用いての取り組みがなされている。		
9	- 4 -(1)- 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<コメント>年2回、職員の質向上のために職員評価の取り組みが行われている。その評価の結果は職員で共有し改善が図られている。職員会議でも問題提起し改善策が図られている。		

評価対象 組織の運営管理

- 1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
- 1 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	- 1 - (1) - 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント>園長として就任され間もないが前歴で法人内の別のグループ園長としての実績がある。長としての責務関係については、口頭での伝言、指示が多くで明文化されたものはなかった。自らの役割と責任を含む職務分掌と不在時の権限委任等については、有事に備え、所在を明確にするために明文化されることが必要と考える。今後、園長の役割や責任を明確にし、職員、保護者に対して組織のリーダーシップを発揮されることを期待したい。</p>		
11	- 1 - (1) - 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント>遵守すべき法令等を正しく理解するために、グループ法人として法令の研修会やコンプライアンス会議や、幼児活動研究会サポートクラブの7園でテストアンケート調査があり参加している。職員にはアンケート結果により再認識を促す取り組みがなされている。今後、福祉分野に限らず、消費者保護関連法令や、雇用・労働や防災、環境への配慮に関するものに対しての取り組みも期待したい。</p>		
- 1 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	- 1 - (2) - 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント>園長は教育、保育の質の向上を常に思い、職員に対しては定期的に法人内のグループ園や職員勉強会や、県主催等のキャリアアップ研修会の参加を促す等して、組織全体でのレベルアップを考えて指導に取り組まれている。</p>		
13	- 1 - (2) - 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント>園長は経営の改善に向けて電子機材の導入を行い、職員はパソコン記帳、リモートを活用し、研修や他の園と情報交換等行われている。また、会計処理等の事務作業を外部のサポート会社に委託し、職員が教育、保育に専念できるよう取り組みがなされている。</p>		

- 2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
- 2 - (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	- 2 - (1) - 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p><コメント>人材確保について、外部のサポート会社やハローワークで行っているが、どうしても人材が不足する場合は法人内のグループ園で配属調整等が行われている。今後、園の理念や基本方針に基づく期待する職員像を明確にされるよう期待したい。</p>		

15	- 2 -(1)- 総合的な人事管理が行われている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>学園法人の下で外部のサポート会社と連携し、職員の総合的な人事管理が行われている。職員に対して評価基準表があり専門性、職務遂行能力、指導成果等評価等人事管理体制が整備されている。キャリアパス制度により総合的な仕組みを取り入れて職員の将来の目標を持てるよう積極的に行われている。</p>		
		第三者評価結果
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	- 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a ・ b ・ c
<p><コメント>働き方改革で残業なし、有給休暇をすべて消化する、仕事の持ち帰りなし、必ず休憩時間の確保、行事等での職員の負担量の軽減等の取り組みがなされている。定期的に職員に働き方のアンケートを実施されて福利厚生にも力を入れる取り組みがなされている。</p>		
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	- 2 -(3)- 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>園としての方針に基づき、職員一人ひとりの目標管理のため、個別に面談が行われている。職員一人ひとりの目標については、項目、水準、期限が明確に示されており、定期的に面接を行い、進捗状況の確認がなされている。</p>		
18	- 2 -(3)- 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>経営計画のもと、法人内のグループ園で交流や視察をかねて研修が開催されている。外部より講師を呼んでの研修やキャリアアップ制度の利用を行い、積極的に職員の教育研修もなされている。今後は年間計画の中に取り入れながら、研修の目的を明確にした上で、継続的に職員の教育、研修が適切に実施される事を期待したい。</p>		
19	- 2 -(3)- 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>職員に対して、様々なスキルに合わせて個別に研修、教育がなされている。研修等の後は職員会議にて報告が行われ次回に教育、保育に生かされている。年2回の面談時に希望する研修ができるよう取り組まれている。</p>		
- 2 -(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	- 2 -(4)- 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>実習生の受け入れに対して教育、保育に関わる基本的姿勢は法人内のグループ園で明文化されているがマニュアルの整備はされていない。実習の依頼校からのプログラムにて行われている。今後は教育、保育の専門職の受け入れ体制を整備し、保育全体の質の向上に対する取り組みを期待したい。</p>		

- 3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
- 3 - (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	- 3 - (1) - 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>園の理念、基本方針や保育内容、財務等や第三者評価受審結果等についてはホームページにて開示されている。また、苦情、相談の体制や内容に基づく改善・対応状況も公開する等保育の質の向上が図られている。一方、地域に対しては特に取り組みはなされていないので、園の広報誌を配布する等地域への周知がなされる事を期待したい。</p>		

		第三者評価結果
22	- 3 - (1) - 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>園の透明性と適切な経営、運営のために総務、経理、人事などの業務管理はサポート会社に全面委託し、グループ園の理事長として内部監査が行われ、サポート会社から毎月関係資料が示され、アドバイスを受けて財務の改善が行われている。</p>		

- 4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	- 4 - (1) - 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>地域との交流に関する基本的な考え方について明文化されておらず、計画の中にも取り込まれてない。コロナ感染症予防対策中のため、地域行事へ自ら参加する等の積極性はなく、声かけに応じる程度である。今後は、地域との交流を深める活動への参加の推奨や体制整備の取り組みを期待したい。</p>		
24	- 4 - (1) - ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・ b ・ c
<p><コメント>ボランティアの受け入れや学習体験等の受け入れはなされてない。ボランティア活動はなく、受け入れに関する基本的な姿勢の明文化や受け入れマニュアルも見当たらない。ボランティアの受け入れ、利用について手順や流れ、保護者への事前説明の仕組み等整備され、地域の交流や関係性が適切に行われるよう期待したい。</p>		
- 4 - (2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	- 4 - (2) - 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>地域の方々や関係機関、団体等との連携や体制整備については行われていない。地域の園長会に参加し、必要な社会資源の活用、ネットワーク化の取り組みを行い、組織運営と職員間での情報の共有化を組織的に行われることを期待したい。</p>		
- 4 - (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	- 4 - (3) - 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a ・ b ・ c

<p><コメント>定期的に未就園児教室としてのキッズクラブを開催しているが、地域の地域の福祉ニーズの把握については、園として行っていない。今後、地域の福祉向上のためにも地域社会に必要とされる役割や機能を発揮できる取り組みを期待したい</p>		
27	- 4 - (3) - 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<p><コメント>園長就任後、日が浅く地域福祉のニーズやコミュニケーション不足が見られる。地域への専門的知識の還元、適切な情報提供を行い地域の関わりを深めて園への理解を得られるように、事業計画に組み込まれるとともに、園として日ごろから地域社会に貢献、活動推進できる組織づくりを期待したい。</p>		

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	- 1 - (1) - 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント>教育、保育の理念、基本方針に添って、3歳未満児は各個人ごと、3歳以上児はクラスごとに子どもを尊重した計画が作成されている。子どもがお互いに尊重できるよう道徳本を用いて言葉、作法などの取り組みがなされているが、男女の接し方に固定観念が見られる。性差別観がない配慮をして職員が共通認識し教育、保育されるよう期待したい。</p>		
29	- 1 - (1) - 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・b・c
<p><コメント>ホームページや重要事項説明書の中に個人情報の取り扱いについて整備されている。園児の写真等の掲示等はプライバシー保護に基づいて取り組みがなされ保護者に説明し、了解を得て職員への周知もなされている。トイレ、シャワー室等で、外からおむつ交換作業等が見えないよう配慮されている。保育所の特性に応じた環境や日常生活などの関する規程、マニュアル等作成されて理解を図られることを期待したい。</p>		
- 1 - (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
30	- 1 - (2) - 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p><コメント>利用希望者が、事業所の情報に関してその都度新しい情報が入手できるように定期的にホームページの更新を行っている。また、園の見学希望者には園長、主任が対応し見学、説明の対応をしている。市外の通園児が多いので、より多くの方々に周知されるよう、園内外の各公共施設などにパンフレットの設置等の検討を期待したい。</p>		
31	- 1 - (2) - 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p><コメント>保育開始や保育内容を変更する際は、保護者には重要事項説明書に基づき説明し、同意のもと行われている。緊急時の教育、保育の変更時は緊急メールシステムにより保護者に一斉メールで連絡し、保護者の既読を確認するシステムを活用している。一方、</p>		

保育内容の変更時のマニュアルなどはなく、重要事項説明書の説明時のみであり、今後は手順書等の作成に期待したい。		
32	- 1 - (2) - 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<コメント>転園について、引き継ぎ書類は園で使用している指導要綱録を渡す配慮がされており、卒園時においても小学校に同様の書類を渡している。一方、保育所の変更にあたって、保育の継続性に配慮した手順書などの定めは見当たらなかったため、今後手順書の作成等の取り組みに期待したい。		
- 1 - (3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	- 1 - (3) - 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	a・b・c
<コメント>利用者の満足度の把握については組織的に行われていないが、保育参観、親子交流、個人面談等の聴き取りや意見箱設置により把握している。今後、保護者の満足度の上昇のため、職員会議や向上委員会等を設置し、定期的に改善の過程、対策を組織的に取り組む体制づくりを期待したい。		
- 1 - (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	- 1 - (4) - 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<コメント>苦情、相談窓口の設置は重要事項説明書に記載されており、担当者、責任者、第三者委員についても明示されている。説明書には受付方法等も記載されており、事務室脇の玄関に意見箱が設置されている。保護者の意見、要望などは連絡ノートに記載されていることが多く個別対応されている。今後の取り組みとしては、意見箱を事務室から離れた場所への移動設置等の配慮を期待したい。		
35	- 1 - (4) - 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
<コメント>保護者が相談、苦情が述べやすい環境を整備されているとは言い難い。意見箱も玄関内にあり事務室から見えやすく、相談室も来園者が見える場所で相談室の表記もない。環境整備を整え、相談や意見を抽出しやすくするためにアンケート実施、聞き取り、保護者会等の手段を考慮しながら、意見を述べやすい雰囲気づくりを行い、保護者への働き掛けを期待したい。		
36	- 1 - (4) - 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<コメント>保護者からの相談、意見に対して職員会議で検討されている。苦情はホームページに結果報告記載、連絡ノートにも返答されている。検討結果により、教育、保育計画の変更等対処している。苦情、相談に関わる対応マニュアルの整備はないと説明がなく、より良い教育、保育のサービス向上のためマニュアルの整備を期待したい。		
- 1 - (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	- 1 - (5) - 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<コメント>安心、安全な福祉サービスは担当職員により園内清掃、遊具の安全点検などの		

<p>確認がとられている。また日頃から職員会議、勉強会などで安全確保について話をするようにしているが、その内容について明文化されたものはない。今後、安全確認、定期的なメンテナンス、ヒヤリハットや事故報告書を作成し、さらに子どもの安心、安全を配慮し事故発生時の対応のためにも、ガイドラインの体制を整えられることを期待する。</p>			
38	- 1 - (5) -	<p>感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント>園内で流行している病気があれば、ホームページ上で周りに注意喚起するようにしている。定期的に法人内のグループ園で感染について情報交換が行われており、発生時は保護者にメールで周知が行われている。一方、園に保健師、看護師がおらず感染症の予防、発症時の対応マニュアルもなく、感染症対策ガイドラインでの確認対応で園での見直し、勉強会も行われてないので、今後は勉強会も含めて、マニュアル作成等の整備を期待したい。</p>			
39	- 1 - (5) -	<p>災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント>月1回、火災、防犯の避難訓練があり保護者に対しては園だよりで周知されている。子どもの安全を確保するためにも災害時の対応マニュアルの整備を期待したい。また、年1回防災訓練では消防職員の立会いのもとに行われているが、様々な災害に対して行政や地域の人々を巻き込みこんでの訓練を積極的に取り込まれハード、ソフト面での対策を行い、問題点を見出しての見直しを期待したい。</p>			

- 2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果	
- 2 - (1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
40	- 2 - (1) -	<p>保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。</p>	a・b・c
<p><コメント>理念、基本方針により園独自の3つの力(「心の力」「学ぶ力」「体の力」)を身につけるカリキュラムがあり、子ども1人ひとりの発達状況に応じて、全員が達成できるよう各担当職員が目標を立て実施されている。主任が指導計画書に基づき確認、指導する取り組みがなされている。一方、適切に実施されているかどうか確認する仕組みがなく、今後の仕組みづくりに期待したい。</p>			
41	- 2 - (1) -	<p>標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント>教育、保育の標準的な実施方法として計画の内容を週、月、年間毎に担当職員と主任が検証し、見直しが行われている。月1回、サポート運営会社からデイプログラムとして教育水準の確認プログラムが送られてくる。保護者からの意見、要望等に対しての変更等考慮し、全職員周知の下で計画を定期的に見直す取り組みを期待したい。</p>			
- 2 - (2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
42	- 2 - (2) -	<p>アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。</p>	a・b・c
<p><コメント>3歳未満児と3歳以上児の年齢等を把握し、指導計画の作成についてはアセスメントに基づいて行われている。3歳以上児は年齢別のクラスの担当職員が作成、未満児</p>			

<p>は各個人別の計画が策定される。主任、園長の責任の元で計画の確認が行われ、他の職員へも適切に周知されている。</p>		
43	- 2 -(2)- 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c
<p><コメント>指導計画については、年1回個々に実施評価、見直しが組織的な仕組みに基づき、検討会議で行われている。見直しは子ども、保護者のニーズ、保育の質の向上を念頭に再計画されている。今後はよりきめ細やかな指導計画を目指し、年に数回の計画の見直し、評価が行われることを期待したい。</p>		
- 2 -(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	- 2 -(3)- 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a ・ b ・ c
<p><コメント>子どもの発達状況や生活状況等、園が定めた統一の様式で、個別に毎日記録されており、園長、主任、各職員にも共有が図られている。毎日の業務日誌に記録し引継ぎ、申し送りも記載され確認できる仕組みがなされている。</p>		
45	- 2 -(3)- 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a ・ b ・ c
<p><コメント>子どもに関する個人情報保護規程が定められている。入園時、保護者に説明され、パンフレット等写真記載などは了解を得られている。記録などの管理は園長、主任が行い、園長の責任で鍵付きの書庫に保管し、廃棄時はシュレッダーにて行う。情報開示の規約などは見当たらないのでルール、規定を定め、開示請求への対応策を期待したい。</p>		